

## 三重県ダイバーシティ推進方針(仮称)(素案)に対する意見募集 主な意見

素案項目	素案該当頁	意見の概要
全般	—	全体を通して、働くこととスポーツに重点が置かれている。文化や地域づくりなど、様々な場面でのダイバーシティを考えてほしい。
1. 三重のチャレンジ	1	これまでの男女共同参画の浸透状況などを見ていると、三重県は性別役割分担意識が濃く、特に女性が職業を持つことについての意識が保守的である。三重県が多様性をはぐくみ、多様性に寛容で、それを三重県の強みとしてきたという主張は納得できない。
1. 三重のチャレンジ	2	「企業においては・・・ダイバーシティ経営が注目されています。」について、企業分野においてばかりでなく、家庭、地域、教育、政治等あらゆる分野であらゆる人の活躍が注目されている。活躍以前の民主主義社会における包摂の重要性にも言及すべきである。
1. 三重のチャレンジ	2	「女性、高齢者、障がい者、外国人など・・・」という例示において、「女性」という言葉のみで記述しており、「男性」という言葉が入っていないことに違和感を感じる。
1. 三重のチャレンジ	2	計画の根拠として、県民意識調査の結果や外国人の受け入れ状況等の具体的なデータも示すべきである。
2. ダイバーシティの考え方	4	多くの県民は、「ダイバーシティ」という言葉を聞き慣れていないため、理解が進んでいない。重要な部分である「ダイバーシティの考え方」の項目は、冒頭部分に移動すべきである。
2. ダイバーシティの考え方	4	「めざすダイバーシティ社会とは」において、ダイバーシティについて明確な考え方が示されていないまま、めざす社会やそのメリットの説明がなされているのはどうか。また「さまざま」で始まる文について、最後の「実現に向けて挑戦していきます」の主語は明確に示し、何を実現に向けて挑戦するのか示されねばならない。
4. 今後の展開	8	啓発ばかりでなく制度の見直し、結果の評価をフォローアップし、推進していく制度の充実にも取り組みを強化すべきである。